

平成24年度 祝鶴田町成人式



熱き若者たち、二十歳の門出

～未来へと羽ばたくわたしたち成人式～

平成25年1月3日（木）、県内市町村で一番早い「平成24年度鶴田町成人式」が町公民館で挙行されました。

今年度、町で新成人となったのは男性70人、女性67人の137人。うち119人が、この日の式典に参加しました。

厳かに始まった式典は、参加者全員での国歌ならびに町民歌の斉唱、そして町民憲章の朗読へと続きました。

式辞で中野町長は、「国際交流の町、鶴田の若者として、世界へ羽ばたく人材になってくれることを期待しています」と新成人たちへエールを送り、来賓代表として相川県議員と出町町議会議長も、それぞれの思いを込めた祝辞を新成人たちへ贈りました。

祝福を受けた新成人を代表して、齋藤恒也さんと福井美紀さんが家族や恩師、友人が見守る中「今まで成長できたことに感謝し、この日を契機に社会の一員として与えられた権利と義務、そして成人として責任の重さを自覚し、町を愛し、情熱と行動力で諸先輩方の期待に応えられるよう頑張ります。」と感謝の気持ちを述べ伝えました。

新成人たちに将来を聞いてみました！



永澤佑弥さん

仙台の建設会社で働いています。将来は、金を貯めて焼肉店を経営したいと思っています。頑張るぜ！



成田美沙都さん

今は、弘前市岩木にある介護福祉施設に勤めています。将来は社会福祉士の資格を取ってスキルアップを目指しています。



長内遥香さん

今は、スーパーストア鶴田フードリバーモールのレジのバイトをしています。見かけたらよろしくお願ひします。将来は「お嫁さん」ということでよろしくお願ひします。



- ①町長の式辞では、新成人の皆さん静粛に聞かれていました
- ②新成人代表謝辞を述べる福井美紀さんと齋藤恒也さん
- ③④「乾杯」の模様。中学校時代の恩師が新成人たちへ言葉を贈り、最後に音頭をとって会場が盛り上がりました
- ⑤町民憲章を読み上げる新成人たち
- ⑥恩師を囲んでの記念写真。先生方は少し照れくさそうです
- ⑦司会進行役の実行委員の皆さん



厳かな式典が終わり、第2部として開催された「成人の集い」では、新成人たちが実行委員となり進行され、記念品の贈呈、招待した中学時代の恩師による乾杯、出席できなかった中学時代のスライドの上映などが行われ、仲間たちが進行する成人の集いに会場は終始和やかな雰囲気になっていました。

最後は、主賓と恩師を囲んでの記念撮影、そして成人記念の「つるた焼」の陶器づくりが行われ、新成人たちは自らの想いを陶器に描きつつついでいました。

すでに社会人として活躍している人、夢に向って勉強に励んでいる人、どんな新成人にもそれぞれに不安や悩みを抱えて生きています。そして多岐にわたる困難がこれから待ち受けているかもしれません。しかし、この成人式で「成人」という大きな扉を開けた若者たちは、喜びと希望に瞳を輝かせ、社会の一員としての責任を持ち、今まで育ててくれた方々への感謝の気持ちを胸に、未来へと大きく羽ばたいて行くことでしょう。

今は、弘前の三和園で介護の仕事しています。今の仕事を続けながら3年後に介護福祉士の資格を取得して、ずっと介護の仕事に携わって行ければと思っています。頑張ります！



棟方さゆりさん

弘前大学の教育学部で学んでいます。将来は高校の先生の先生か、子どもが好きなので小学校の先生でしょうか。でも、外国も好きなので海外旅行の添乗員もいいなと思っています。今は夢いっぱいです。



中野 悠さん

神奈川県重機の部品を製造する会社に勤めています。将来は一人前の男になり親を助けてあげたい。出来る限りの「親孝行」をします。



一戸 匠さん